



いずみさの

No.167
2019.11.1

市議会だより



New Topics

第3回 みらい泉佐野こども議会を
開催

平成30年度 決算を認定

目次

- ◆議会活動報告 …………… 2～3
- ◆9月定例会の結果報告 …… 3～6
- ◆一般質問 …………… 7～11
- ◆議会豆知識 …………… 11
- ◆ご案内 …………… 12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。

[泉佐野市議会](#)

[検索](#)



議員研修

7月30日

関西大学特別任命教授・社会安全研究センター長、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長の河田 恵昭 氏を講師に迎え、「台風21号を教訓とした災害に強いまちづくり」をテーマに大阪府南部市議会議長会による議員研修会が開かれました。

9月3日

りんくう総合医療センター産婦人科部長兼泉州広域母子医療センター長の荻田 和秀 氏を講師に迎え、「奇蹟のすぐそばにということ～泉州の周産期医療と子育て支援～」をテーマに研修会を開催しました。

医療機関で受診せずに出産にいたる未受診妊婦の背景や早産のリスク、泉州地域の現状など、周産期医療の状況をお話しいただきました。



9月10日

北九州市への視察を控え、その事前学習として、北九州市小倉および当市のリノベーションまちづくりに関わられている株式会社らいおん建築事務所 代表取締役 嶋田 洋平 氏を講師として、「リノベーションまちづくりについて」をテーマに総務産業委員会研修会を開催しました。



関空りんくうまちづくり特別委員会 視察

8月26日

りんくう国際物流センターと建設中の関空アイスアリーナを視察しました。関空旅客数が非常に好調で、観光やインバウンドが注目されがちですが、物流産業も泉佐野市における大きな成長産業分野であることがわかりました。

12月25日オープン予定の関空アイスアリーナでは、工事過程の現況を視察し、アイスアリーナを中心としたりんくうアイスパークの完成イメージを把握することが出来ました。



今年は学校から代表を出していただく形ではなく、チラシを配り、こども議員を公募する形で実施しました。その結果、7名のこども議員さん（小学生6名、中学生1名）が応募し参加してくれました。



リハーサルの様子



こども議員代表の挨拶

こども議員さんからは、率直な意見がたくさん出て、議員（一部職員）が質問に答えました。学校の課題や未来の泉佐野市に向けた提案などもあり、希望を感じさせていただきました。



こども議会終了後に記念撮影

最後には「政治に興味を持ってもらうには」をテーマとして、全体で意見交換を行い、たくさんの意見をいただきました。教育という行政サービスを受ける当事者であるこども達の意見を直接聞くことができ、私たち議員にとっても非常に価値ある機会となりました。

9月定例会議を開催

議案
第41号

動産の買入れについて

可決
賛成多数

アイスアリーナ用断熱式タイルカーペットを5,413万6,500円で購入する議案。アイスアリーナの表面に断熱性の床材を設置することによって、巨大なMICE会場等として利用できるようにするためのものです。

6月定例会において同案件の補正予算案として、3,326万4,000円で審議可決されていたのですが、より適した床材が見つかったとの理由で、増額して購入する議案が提案されました。

そのため、議案の提案の順序が異例であることなどに対して反省を求める意見や、当初予定していた床材との差、MICE会場として本当に機能するのか、といった質問がありましたが、12月オープンに間に合わせる必要性や床材を変更する理由などの答弁を聞いた上で、賛成多数で可決しました。

議案
第53号

令和元年度泉佐野市 一般会計補正予算(第5号)

可決
全会一致

上之郷コミュニティセンター内に設置する診療所の医療機器及び備品消耗品等の費用、議会資料のペーパーレス化のためのタブレット端末導入費用、昨年の台風により被災した住宅の改修、除却工事等に対する助成の追加、史跡等保存事業に関連する整備や発信のための費用などが計上されました。

史跡等保存事業

日本遺産に認定された「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—」のストーリーに関連した歴史や文化遺産を整備・活用し、地域の文化財群を国内外に発信するため、「日本遺産日根荘推進協議会」に対する補助事業です。

日本遺産認定:令和元年5月20日

事業費:27,529,000円

(国費21,915,000円、市費5,614,000円)

なお、協議会はホームページ・パンフレットの製作や、PR活動を実施します。



認定
第1号

平成30年度泉佐野市一般会計 歳入歳出決算の認定について

可決
賛成多数

平成30年度泉佐野市一般会計決算を始め各会計決算について、決算書及び委員から請求された140項目に係る資料をもとに9月11日から13日までの3日間、慎重審査を重ね全ての決算にわたり認定が可決されました。

当年決算の特徴としましては、平成27年3月に策定した中期財政計画に基づく給与カットなどによる歳出削減のほか、遊休土地の売却、ふるさと応援寄附の推進、空港連絡橋利用税の徴収などの歳入確保により、単年度収支では300万円の黒字となり、実質単年度収支でも23億700万円の黒字となりました。

一般会計としては、過去最高の規模となっています。歳入増加の要因はふるさと応援寄附金によるものが多く占めています。

投資的事業としては、日根野公民館の整備、新池中学校、佐野台小学校、第二小学校、中央小学校のプールの整備、熊取西地区整備、りんくう公園の整備及び南海井原里駅舎のバリアフリー化補助等が挙げられます。

防災対策としては防災行政無線(J-ALERT)機器更新、地域の防災拠点となる避難所への防災備蓄倉庫設置等、また市制70周年記念事業等が実施されました。

ふるさと応援寄附金、教育、防災等の質疑が多く出されました。

議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第39号	<p>泉佐野市立上之郷コミュニティセンター条例制定について</p> <p>泉佐野市立上之郷コミュニティセンターを令和2年4月1日より開館するにあたり、設置の目的や使用の取り扱い、料金等を定める設置条例です。</p>
議案第40号	<p>成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について</p> <p>成年被後見人の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法令の整備に関する法律が施行されたことに伴い、関係する条例について、成年被後見人及び被補佐人の人権が尊重され、理由に不当に差別されないように、成年被後見人等に係る欠格条項、その他の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための所要の改正を行うもの。</p>
議案第42号	<p>泉佐野市市税条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>子供の貧困に対応するための個人住民税の非課税措置の適応、住民税申告の記載事項の簡素化、消費税率引き上げに伴う軽自動車税の環境性能割の税率を軽減するなどの改正です。</p>
議案第43号	<p>泉佐野市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>本年11月5日から、申請をした方に限り住民票や個人番号カードに旧氏を現在の氏と併記する取り扱いが開始されることに伴う改正です。</p>
議案第44号	<p>泉佐野市建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>インバウンド対応型の宿泊施設等について、駅からの距離等を考慮し、駐車施設の需要が低いと認められる建築物は、条例の規定によらず協議により駐車施設の規模を定めることを可能とするもの。</p>
議案第47号	<p>泉佐野市下水道条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>大阪府下水道協会と各市町村の二重管理の解消を行うものです。</p>
議案第48号	<p>泉佐野市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>工事を適正に行うための資質の保持や実態との乖離の防止を図るため、指定給水装置工事事業者の指定の5年ごとの更新制を導入するものです。</p>
議案第49号	<p>泉佐野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について</p>
議案第50号	<p>泉佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について</p>
議案第51号	<p>泉佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例制定について</p>
議案第52号	<p>泉佐野市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例制定について</p>
議案第54号	<p>令和元年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)</p>
認定第3号	<p>平成30年度泉佐野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について</p>
認定第4号	<p>平成30年度泉佐野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について</p>
認定第7号	<p>平成30年度泉佐野市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算の認定について</p>
議案第55号	<p>固定資産評価審査委員会委員選任についての同意を求めることについて</p> <p>固定資産評価審査委員会委員に、赤坂 宏さんを選任することに同意するものです。</p>

議案番号	案 件
議案第56号	教育委員会委員任命についての同意を求めることについて 教育委員会委員に、甚野 益子さんを任命することに同意するものです。
議員発議第8号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
議員発議第9号	太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書

議案第53号は4ページをご覧ください。

表決が分かれた案件

議案番号	案 件	結果
議案第45号	泉佐野市公園条例の一部を改正する条例制定について りんくうアイスパークの名称や運用、料金等を定める条例です。	可決
議案第46号	平成30年度泉佐野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 平成30年決算において生じた未処分利益剰余金6億1,772万6,812円のうち、2億4,071万1,751円を建設改良積立金に積み立て、3億7,701万5,061円を資本金に組み入れるものです。	可決
認定第2号	平成30年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
認定第5号	平成30年度泉佐野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
認定第6号	平成30年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
認定第8号	平成30年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
認定第9号	平成30年度泉佐野市水道事業会計決算の認定について	可決

議案第41号は3ページ、認定第1号は4ページをご覧ください。

議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

	公明党				チーム泉佐野創生			自由民主党			日本共産党		大阪維新の会		正道の会・泉新の会		新緑未来	
	大庭 聖一	土原 こずえ	岡田 昌司	辻中 隆議長	野口 新一	向江 英雄	大和屋 貴彦副議長	西野 辰也	長辻 幸治	高橋 圭子	福岡 光秋	高道 一郎	新田 輝彦	日根野谷 和人	辻野 隆成	中村 哲夫	中藤 大助	布田 拓也
議案第41号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第45号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第46号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第1号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第2号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第5号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第6号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第8号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第9号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対

一般質問

線、計4回線設けているところがあります。



公明党
泉佐野市会議員団 代表
大庭 聖一 議員



・防災対策について
・教育・子育てについて
・商店街について
・活性化について

防災対策について

Q 防災倉庫の取り扱いの研修について教えてください。

A 防災士フォローアップ研修の中で避難所に備蓄した物資や資機材を使って避難所開設に関する研修を行いました。また、災害時に避難所に駆けつける市職員に対しても同様の研修を行いました。

Q 防災時の連絡について、改善策を教えてください。また関西電力との連絡体制は？

A 防災行政無線の整備に合わせ、放送内容の自動電話案内サービスや市ホームページへの掲載、登録制メールやツイッターへの配信などを行っています。

関西電力との連絡体制は、昨年の台風の後、一般回線とは別に災害時用として直接担当者につながるホットラインを2回線、障害物撤去用のホットラインを2回線、

教育・子育てについて

Q 防災教育について教えてください。また防災倉庫の備品の取り扱いの研修はしていますか？

A 防災に関する学習は学校防災教育年間指導計画に位置づけられ、計画的、継続的に進めています。

また、備品の使い方については各学校の授業の中で指導できるよう考えていきます。

Q 安全対策について、学校のブロック塀対策と通学路の安全対策は進んでいますか？

A 学校施設では、第二小学校、日新小学校、北中小学校、上之郷小学校、長南小学校、末広小学校の6校で既存不適格のブロック塀等を確認し、長南小学校を除く5校では既に撤去及び改修工事が完了、長南小学校においても今年度中に完了する予定です。通学路は所有者への改善指導等の権限が本市にはなく、必要な指導等は大阪府が行うこととなっています。

今後大阪府による継続指導が必要な箇所は9カ所あり、早期改善に向け、本市も可能な限りの取り組み

みを継続してまいります。

Q 親子で触れ合える施設、室内に大型遊具がある施設を教えてください。

A 親子でふれあえる施設として、地域子育て支援センターつくしんぼ及び同分館わたぼうしを運営しています。

また、つばさ幼稚園の親子教室で週2日、午後の時間帯に、いつでもおいで広場を実施しています。大型遊具は、地域子育て支援センターと親子教室にエア・トランポリンを設置しています。

また、民間施設のいこらもくろ内で遊戯施設は有料ですが、巨大ジャングルジム、メリーゴーランド、トランポリン等が設置されています。



Q 読書習慣を身につけるために読書通帳の導入は？

A 来年度中を目途に、小・中学校への配布を検討しています。



商店街について

Q 駅海側の下水整備はどうなっていますか？

A つばさ通り商店街と春日通り商店街は、平成2年度及び3年度に、公共下水道の污水管並びに雨水管を敷設する工事を行っています。

雨水管は施工後すぐに使用していますが、污水管は春日通り商店街は、平成2年度より供用を開始し、つばさ通り商店街は、まだ未供用となっています。



活性化について

Q 日根荘の日本遺産認定をうけて今後の展開は？

A 本市、民間事業者、地元団体で日本遺産日根荘推進協議会を設立しました。この協議会が主体となり、今後3年間、国庫補助を受けながら日本遺産を活用した地域活性化の取り組みを進めます。



正道の会 泉新の会 代表
中村 哲夫 議員



・泉野駅東口のホテル建設について
・文化の振興について
・泉野駅の整備について
・土丸・栄線について
・学校プールについて

東口ホテル建設は大丈夫か

Q 3度目の質問です。3年前から計画のある南海泉佐野駅東口広場のホテル建設計画であるがオリピックを来年に控えた現在、工事の始まる気配がない。市民の関心も大きい。本当にできるのか。現在の進捗状況をお聞きいたします。

A 事業主体である日本ビルド株式会社が権利を有する定期借地権を第三者に譲渡することで進めています。先般、近畿総合リース株式会社が名乗りを上げていただきましたので、譲渡先候補として最終調整を行っている状況です。このことにより同社が代表企業となり、設計が安井建築設計事務所、ゼネコンが浅沼組と地元企業である日本土木建設のJV、ホテルオペレーターがベッセルホテルとなる予定で進められています。現時点で、ホテルオープンについては、令和3年度になるものと考えています。



泉の森ギャラリーについて

Q 若い人の住みたくなる街をめざす泉野市として文化の振興も大切である。そのためには泉の森の賑わいも重要であるが、築20年を超えギャラリーのボードの痛みは激しい。広く写真展や美術展が開催され、また多くの市民に愛されるためにも、ボードの改装が必要と思うがどうか。

A 展示される作品については、出展される方の深い思い入れがあることと思いますので、その作品の背景となる壁面について、きれいな状態であることを望まれるのは当然のことであり、本市としましても壁面の改修は行うべきであると考えています。現在、具体的な改修方法の検討や改修を行う時期などについて、指定管理者と協議しているところです。できるだけ早期に、遅くとも年度内には実施し、皆様に快適にご利用いただける施設運営による文化、芸術の振興に努めてまいります。

大阪維新の会

泉野市会議員団 代表
新田 輝彦 議員



・福祉について
・ふるさと納税について

地域福祉について

Q 少子高齢化社会が進む中、地域福祉は地区福祉委員会に委ねられています。その役割は多岐に渡りますが、なり手不足が深刻だと仄聞いたします。本市全体としてどのような現状なのか？また、どのような認識を持たれているのかお尋ねいたします。

A 民生委員児童委員については、3年ごとに二斉改選を迎え、本年度がその時期に当たり、定数165人のところ139人で、実に26人が欠員となる予定です。欠員を補充するべく、各町会、自治会にはお願いをしておりますが、改選期における欠員数は過去最高となっており、所管部局としても危機感を持っているところです。国や大阪府の検討会の報告書などを参考にしつつ、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会のご協力を得て、なり手不足解消に向けた具体的な改善策を研究してまいります。

ふるさと納税の今後について

Q ふるさと納税で頂いた寄付の一部はイベントに助成されています。

寄付集めの苦勞も少なくなり、イベント開催がしやすくなりました。しかし、ふるさと納税制度から除外されイベントの開催に不安が残ります。今後、イベント助成はどの様にされるのでしょうか？

A ふるさと納税制度に参加できない現状があり、基金の積立額の増加を、残念ながら見込むことはできません。しかしながら、平成30年度末時点の各対象イベントの基金積立残高は、郷土芸能の集いにおいては2048万円、ENJOYりんくうは8673万円、ザ・まつりin Izumi sanoは23372万円、泉州YOSAKOI I忍えじゃないか祭りは2690万円であり、すぐに底をつくという状況ではありません。今後は早期のふるさと納税制度への復帰を目指して、引き続き対応してまいりたいと考えています。



日本共産党
泉佐野市会議員団 代表
福岡 光秋 議員



・学校教育の改善について
・市民の暮らしを守る施策について
・市民に優しい街づくりについて

学校教育の改善について

Q 新池中学校通学路のグリーンベルトの新設の予定は。

A 通学路安全推進会議で、要対策箇所を抽出し、道路の状況や道路交通法等の法令上の問題を勘案しながら対策いたします。市道泉陽ヶ丘2号線は、今年度の推進会議で要対策箇所としての位置づけを検討したいと考えています。

Q 小中学校のトイレ洋式化の進捗状況は。

A 小学校で約61%、中学校で約52%全体では約58%です。

Q 小中学校の体育館・武道場へのエアコン設置の進行について

A 令和元年度から3カ年の予定で小学校は体育館に、中学校は体育館と武道場に空調設備の整備を順次進めます。初年度となる今年度は、避難所開設の可能性が高い日新小学校、北中小学校、大木小学校、上之郷小学校、第三中学校、長南中学校の計6校において、8月から工事を開始しています。



暮らしを守る施策について

Q 国保、介護保険料の収支は。市民負担の軽減を。

A 国民健康保険特別会計の平成30年度決算は、累積収支額で約4億円、単年度収支で約4500万円の赤字です。介護保険事業特別会計の決算は、実質収支額が約1億2200万円の赤字です。介護保険給付費準備基金の現残高は、平成30年度末、約5億6900万円で、このうち3億円を保険料の抑制を図る財源として、引き下げ改定を行い、減額しています。

市民に優しい街づくりについて

Q コミュニティバスの路線延長、バス停の増設について

A 個別の地域ニーズ等を検討し、安全で利便性の高い地域公共交通となるよう努めます。

Q 防災無線の聞こえない地域への対策は。

A 放送内容の自動電話案内サービスやホームページへの掲載、登録制メールやツイッターへの配信、ジェイコム防災情報サービスとの連携などを行っています。

自由民主党
泉佐野市会議員団 代表
長辻 幸治 議員



・ふるさと納税について
・市町村広域連携と市町村合併について
・道路について
・日根荘の日本遺産について
・市役所について

市町村広域連携と市町村合併について

Q これからの人口減少時代で税収が減る中で、広域連携のま

A 広域連携は今後も経済性や効率性を検証しながら取り組みを継続するとともに、新たな広域連携の実施も検討するなど、積極的に取り組んでまいります。

Q 市町村合併は今後の行政課題が生じるなど、行政運営の厳しさが増すことが予想され、それを根本的に解決し、住民サービスを維持する方策として、市町村合併は究極の行財政改革であり、有効な手段であると認識しています。

しかしながら、将来的に高齢者人口の増加による福祉ニーズの増大・多様化、生産年齢人口の減少による

Q 近年頻発する局地的集中豪雨や台風などの影響により、道路側

道路について

Q 近年頻発する局地的集中豪雨や台風などの影響により、道路側

溝が溢れ、道路冠水する事象が増えている中、対策をどう考えているか？

A 雨水管整備が完了している区域は、道路側溝の水量負担を軽減するため、道路側溝より新たに雨水管へ取り込むための工事を行い、雨水整備が完了してない地域は、新たに雨水管整備を計画的に効率よく進めたいと考えています。

日根荘の日本遺産について

Q 観光客が来た場合に大木地区に公衆トイレ、飲食お土産等の店がありませんがどうしますか？

A 荘園の農村景観に極力影響を与えない設置場所やトイレの外観及び仕様のほか、その整備主体や整備方法、維持管理の手法等の検討にあわせて、地元協議を進めながらトイレ整備に前向きに取り組んでまいります。また、景観に見合った地域資源を生かした飲食等が提供できる施設や体験メニュー、お土産物など、コンテンツの構築が観光客の増加や消費促進につながるのではないかと考えます。

新緑未来 代表

中藤 大助 議員



・森林保全について
・教育について

森林保全について

Q 泉佐野市内にある森林は林業従事者の高齢化や後継者不足などの理由で、放置された状態となっています。自然災害対策の面においても早急に整備する必要があるが、行政としてはどのようにお考えですか。

A 森林経営管理法が今年度から施行されました。この制度により、林業経営の効率化及び森林管理の適正化の一体的な促進とともに、森林の活用による地域経済の活性化及び土砂災害の発生リスクの低減が図られ、さらには林業の振興にも資するものであることから、今後、本制度の推進に努めてまいります。森林経営管理制度により適正な森林管理を行うには、所有者等の情報の整理や森林境界を明確にし、それに基づき森林の基盤整備を行うことが必要不可欠で、来年度より森林環境譲与税を活用し、森林に関わる基礎データの整理を行いたいと考えています。



教育について

Q 2020年4月から小学校3年生にも英語教育が導入されますが、子どもたちが「生きた英語」を学習するうえで、英語に対して親しみが持てる授業内容にするためどのような方策を考えているのでしょうか。

A 現在、市内全小学校で、朝の学習等の短時間学習の中で、10分から15分程度、英語のDVD教材DREAMを活用しながら、1年生から日常的に外国語の学習を進めています。併せて市費講師のALT（外国語指導助手）を佐野中学校・第三中学校・長南中学校に各1名配置し、今年度も、全小学校で年間27回以上勤務できるよう計画しています。5・6年生が中心ですが、各校の状況に応じて、1年生から4年生の授業にも関われるようにしているほか、総合的な学習の時間等においても、国際理解教育の授業に関われるようにしています。



チーム泉佐野創生 代表

向江 英雄 議員



・8050問題を想定した引きこもり対策について
・戦略的な人口ビジョンの構築を行政サービスにおける音声の文字化について

引きこもり対策について

Q 高齢引きこもり問題が深刻化している。その半数以上は、年金や生活保護の受給を申請していないことが問題で、生活が困窮しそのまま死に至ってしまう。まず実態を正確に掴み、早急に対策を講じる必要があると考えますが市の見解は？

A これまで本市独自で引きこもりに関する実態調査は実施しておりませんが、国の調査結果を参考にしながら、関係機関等の支援者への聞き取り、当事者・家族会へのヒアリング調査なども含めて、その実施手法に工夫を凝らしつつ、現状の適切な把握に努めますとともに、独自の実態調査の実施についても検討してまいります。

複合的な課題を丸ごと受け止める相談支援窓口として、全世代型・全対象型包括支援センターの設置を進めています。その第一弾として「基幹包括支援センターいずみさの」を社会福祉協議会に委託して設置しています。令和2年度以降、順次、中学校区ごとに、全世代型・全対象型

戦略的な人口ビジョンの構築を（お産子育てNo.1のPR戦略を）

Q 妊産婦医療費助成制度を創設して市のプロモーションに発展させることは、少子化対策の一つの有効な手段であると同時に若い世代から子育て適地として本市を選択していただだけ、定住促進にも一定の効果があると考えるが、いかがか？

A 出産・子育て関連事業に妊産婦医療費助成制度を創設してシティプロモーションに発展させることは、少子化対策の一つとして効果的な手段であると思われませんが、妊産婦医療費助成制度を開始するには、財源の確保が最大の課題であり、助成の要件や事業の手法について十分な検討が必要であると認識しています。





観光誘客について

Q りんくうエリアへの民間投資が進む中、終日泉佐野で楽しんで貰えるように、マーケット等開催されては、いかがでしょうか？

A 地域の事業者が独立して開業し収益が見込める仕組みを構築できるような将来的には毎週末開催する、本市を代表するイベントとしてエンターテイメントの要素の一つにしていければと考えます。

Q りんくう公園内のモニュメント「LOVE RINKU」の現状とこれからの活用について教えてください。

A このモニュメントの認知度や観光スポットとしての訴求効果を高めるために、NPO法人地域活性化支援センターが取り組む「恋人の聖地プロジェクト」の認定に向けて申請をしたところです。認定されれば、関空玄関口の南泉州エリアでの広域的な連携を図り、スケールメリットも活かしながら新たな訪問者数の開拓をしてまいります。



LINEを活用した市民と行政が繋がる仕組みづくりとシティプロモーションについて

Q LINEの活用について、様々な情報発信や行政サービスの提供を進めている福岡市を参考に、本市においても更なる市民サービスの向上に取り組みべきだと考えます。

A 広報広聴の取組みは、「広報いずみさの」や市ホームページ、市情報番組「さのテレ！」といった独自の広報メディアを活用した情報発信や、ツイッターによる防災情報、フェイスブックによる観光や子育て情報の発信等を行っています。福岡市のLINE活用と同様のサービスとして、「いずみさのメール」や、まちレポ泉佐野『おせちヨ』を行っています。LINEを含めたSNSの活用は世代間の利用率の格差や情報セキュリティの問題点も含め、その媒体としての特性を踏まえつつ、先進的な事例を参考に研究してまいります。



意見書・決議

2件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

全会一致 (送付先)

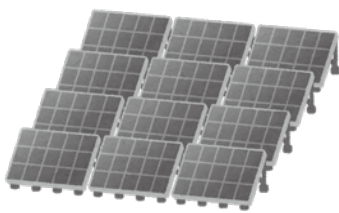
内閣総理大臣、総務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、国家公安委員会委員長



太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書

全会一致 (送付先)

経済産業大臣、環境大臣



市議会のしくみ

市は、執行機関である市長（首長）と、議事機関である市議会という、住民の直接選挙で選ばれた2つの機関でつくられています。

首長と議会がそれぞれ独自の権限と役割を持ち、相互にチェック・アンド・バランス（抑制と均衡）の関係を保ちつつ、全体として、住民から選ばれた地方自治機関としての役割を果たすというのが、憲法と地方自治法に規定された現在のわが国の地方自治制度のしくみの特徴です。これを「二元代表制」と呼んでいます。

議会豆知識



議員研修会 見学者募集

議員研修会は傍聴席から見学をしていただけますので、見学希望の方はメールまたは往復はがきでご応募ください。

1. と き 令和元年12月3日(火) 午後1時～2時30分
2. と ころ 泉佐野市議会議場(傍聴は泉佐野市役所R階から)
3. 講 師 作家・僧侶 家田荘子 氏(泉佐野市観光大使)
4. タイトル 「一緒に生きて行きましょう～生きるということ～」
5. 定 員 80名
6. 応募方法 メール(gikai@city.izumisano.lg.jp) か往復はがきに



1.住所 2.氏名 3.年齢 4.職業 5.電話番号 6.メールアドレス(メールの場合のみ)を記載のうえ、

〒598-8550

泉佐野市市場東1丁目295-3 泉佐野市議会事務局

『議員研修会係』までお申込み下さい。

11月15日(必着)

なお、応募者が多数の場合は抽選します。

市議会を傍聴しませんか

市民ロビーでも視聴ができるようになりました

◆12月定例会の日程表◆

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 12月 3日(火) | 本会議(議案説明) |
| 12月 4日(水) | 総務産業委員会 |
| 12月 5日(木) | 厚生文教委員会 |
| 12月10日(火) | 関空りんくうまちづくり
特別委員会 |
| 12月11日(水) | 行財政委員会 |
| 12月12日(木) | りんくう総合医療センター
対策委員会 |
| 12月18日(水) | 本会議(一般質問) |
| 12月19日(木) | 本会議(一般質問) |
| 12月20日(金) | 本会議(一般質問) |

※午前10時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

※手話通訳をご希望される方は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

表紙の写真



8月25日に「第3回みらい泉佐野こども議会」を開催しました。

市議会だより編集委員

中藤大助	辻野隆成	福岡光秋	向江英雄	土原こすえ	新田輝彦	副委員長	高橋圭子	委員長
------	------	------	------	-------	------	------	------	-----